

区分・種別	重要文化財(建造物)		
名称	いさにわじんじゃ 伊佐爾波神社 附 末社2棟 石燈籠2基 棟札1枚		
所在地	松山市桜谷町		
所有者	伊佐爾波神社	管理団体	
指定年月日	昭和31年6月28日 昭和42年6月15日追加指定		
解説	<p>伊佐爾波神社は道後山の東南端にあり延喜式内社に属する。 かつては今の道後公園内にあったが、建武年間（1334～1338年）に、豪族河野通盛が湯築城を構築するため現在地に移したという。近世になって松山藩主松平定長が寛文7（1667）年にあらたに造営した社殿が現存のものである。</p> <p>本殿は八幡造で、そのうち後殿は桁行9間、梁間2間、一重、切妻造で檜皮葺である。前殿は、桁行9間、梁間2間、向拝（庇）三所、流造、檜皮葺となっていて、江戸時代初期の建造物であるが、桃山時代の雄渾で豪華な様式をよく伝えている。</p> <p>申殿は桁行1間、梁間1間、一重、切妻造、檜皮葺、組物は出三ツ斗、中備には臺股を配している。また、これに接続して檜皮葺の廊下がある。</p> <p>楼門は一間一戸で入母屋造、向拝一間、向唐破風造、本瓦葺、廻廊は桁行延長57間、梁間1間、一重、入母屋造、南北の門は向唐破風造、本瓦葺である。</p>		



愛媛県の名勝に関する特定の調査研究事業報告書(平成28年3月)よ